

# あさがお通信

## 第十七回通常総会

六月五日（土）、第十七回通常総会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が出されていたため、書面・委任状による方法で実施しました。今年は、滋賀県には緊急事態宣言は出されていなかったものの、感染拡大の危険性がある中で、どのように開催しようかと悩みました。やはり、会員の皆さんと直接、話をして、いろいろなご意見を伺いたいという思いが強く、オンラインにより開催することとしました。

オンライン（ZOOM）による開催は、パソコンやスマートフォンにソフトをダウンロードし、そのソフトを起動させて行います。操作方法は簡単ですが、知らないと不安になります。私たちも最初は、「オンラインでやろう。そして会員の皆さんと繋がろう」と意気込みましたが、操作はまだまだ不慣れなため、不安は大きいものでした。そんな不安を持つての開催となりましたが、大きなトラブルもなく進めることが出来ました。

第十七回総会は、出席二十六名、委任状四十四名（計七十名）の方に参加頂きました。今回は四つの議案（二〇二〇年度の事業報告、二〇二〇年度決算の承認、二〇二一年度事業計画（案）、二〇二一年度活動予算（案））を審議頂き、お蔭様で、全て全員賛成で承認を頂きました。

当日は二十六名の会員の方に出席頂いたので、総会最後に、いくつかのグループに分かれ、会員同士でコミュニケーションをとる時間を設けました。会員同士が打ち解け合えるよう、自己紹介、マイブーム等を話し合いました。設けた時間が少なく、もう少し時間を設ければよかったというのが反省です。

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの権利擁護支援活動はまだ制約を受けると思いますが、一刻も早く終息することを願いつつ、役員・職員が一丸となって高齢者・障害者の権利擁護支援にひたすら突き進みたいと思います。これからもあさがおへのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 目次

- 一、第十七回通常総会
- 二、（職）つながるあさがお
- 三、成年後見制度の動向
- 四、書籍紹介



連載

# つながる あさがお

あさがおを  
支えてくださる方々

あさがおは会員の皆様をはじめ、福祉、医療、専門職など多くの方々に支えられながら活動しています。このコーナーでは日々サポートしてもらっている方々をご紹介します。

今回は、足立智彦さん（行政書士・不動産のあだち事務所）です！



（所長 中原）

後見事務の中で、私たちが対応に苦慮することの一つに家探しがあります。

被後見人さんの身体状態の変化で、住み替えが必要になったり、認知症や障害の症状が悪化し、近隣住民に迷惑をかけてしまい住んでいたアパートの退去を迫られることがあります。

しかし、高齢者で保証人が見つからないなどの理由からアパートや貸家などの賃貸物件を借りることができないことが少なくありません。

私たちは、地域の不動産会社を回ったり、居住サポート支援を行っている機関に相談したりするのですが、なかなか物件が見つからず困ることがあります。そんな時、足立さんが親身になって一緒に住まい探しのお手伝いをしてくださいます。

また、経済的な理由等で不動産売却が必要になった場合、売却が難しい物件（長年放置され老朽化した家屋や、「ゴミ屋敷」状態など）の処分も、ご本人のご意向、年齢や財産状況などを十分に聞いていただき、いくつかの選択肢を提案してくださいます。

任意売却の方法や、最近耳にするリースバック契約などの提案もいただき、意思決定支援をおこなう上でも、ご本人にとって最適と思われる支援が行えると感じています。

## 足立さんからのメッセージ



いえいえ、滅相もないことです。こちらこそいつも大変お世話になり、ありがとうございます。

被後見人さまの意向を第一に考え、その実現のために奮闘されるあさがおさんの姿勢からは、いつも、何を大切にすべきかを気づかされ、学ばせていただいております。また、法人として息の長いサービス提供を期待できるあさがおさんのような頼れる存在は、特に若年層で支援を必要とされる方にとっては、欠くことのできない大切な社会資源だと感じます。

私は、5年前、認知症の方やご家族同士がつながり、影響し合う活動に感銘を受け、「公益社団法人認知症の人と家族の会」の活動に加わり、今春、滋賀県支部世話人代表を拝命いたしました。

地域のつながりの希薄化が懸念される昨今、さまざまな立場の人や団体が顔の見える形でつながり、支え合いながら価値創造しゆく社会を志向していくことは何より大切と思います。

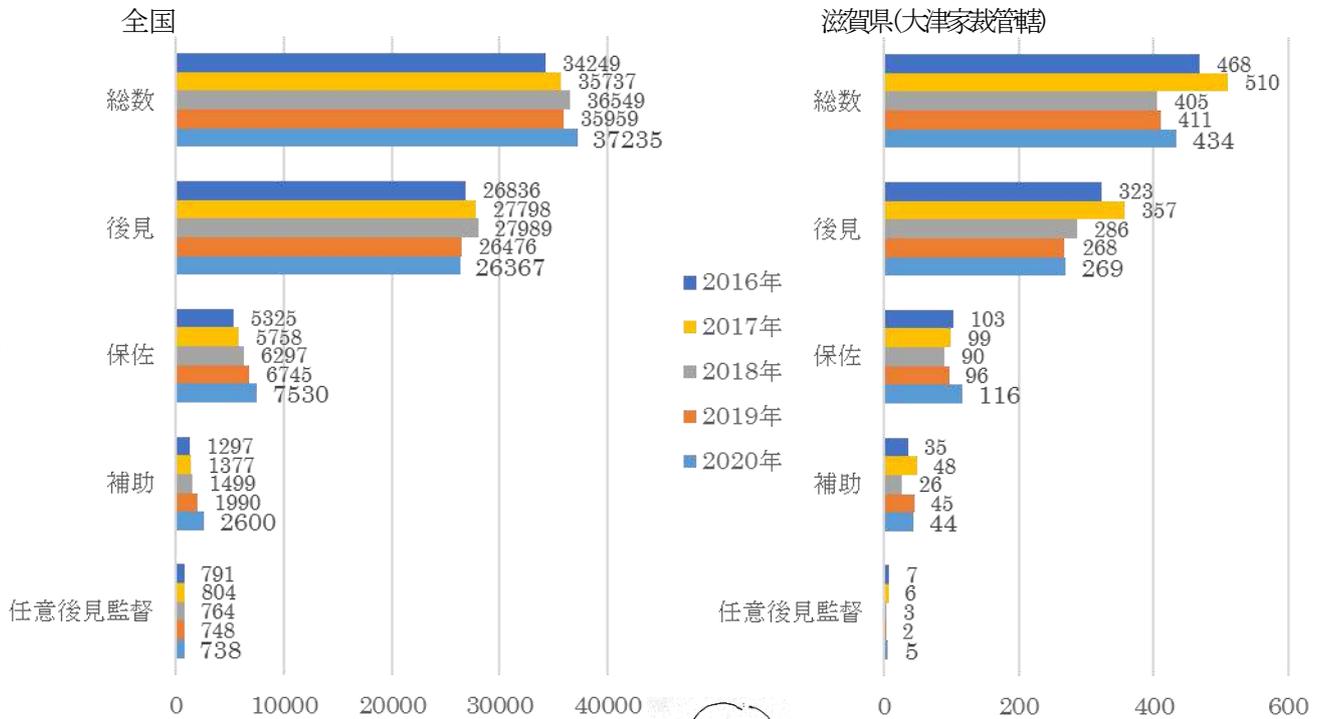
今後も私は、あさがおさんの応援団の一員として、さまざまな立場の方とのつながりを大切に、誰もが安心して暮らせるサービスの提供に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。



# 成年後見制度の動向

2020（令和2）年1月～12月分について、最高裁判所から「成年後見関係事件の概況」として発表されています。最近の成年後見制度の状況をご紹介します。

## 申立件数の推移

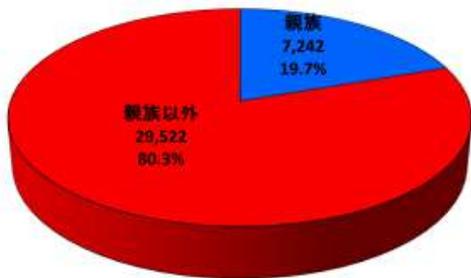


2020年全国的には申立件数（総数）は増加しています。滋賀も前年より23件増。  
 ただ、利用促進法が施行された影響はまだ見受けられません。

2020年全国と比べ滋賀県は、保佐と補助の申立割合が高くなっています。  
 ○保佐：全国20%、滋賀県26%  
 ○補助：全国6%、滋賀県10%



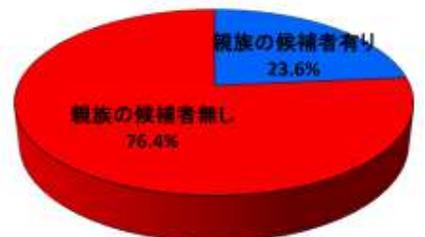
## 成年後見人等と本人の関係



関係別件数（合計）	36,764件
親族	7,242件
親族以外	29,522件
うち弁護士	7,731件
司法書士	11,184件
社会福祉士	5,437件
市民後見人	311件

・配偶者、親、子、きょうだい等の親族約19.7%（前年は約21.8%）  
 ・親族以外 約80.3%（前年約78.2%）  
 年々親族以外の方が選任される割合が増えています。

・親族を後見人候補者として申立 全体の約23.6%  
 家族が後見人になれないようになっていくのではなく、希望する人が減ってきているようです。





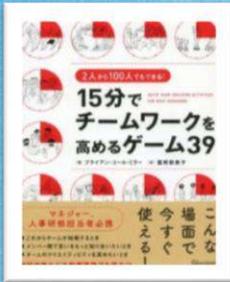
# 書籍紹介

## 【研修企画】

昨年度、研修委員会においてコロナ禍のため、なかなか外部研修参加ができない代わりに、一人一冊好きな書籍を購入し、それを読んでもらうという企画を実施しました。

せっかく一人一人が思い思いに選んだ書籍ですので、自分の読んだ書籍について一言を「ポップ」にまとめてもらい、みんながどのような本を選んで読んだのか、またその本はどんな面白さがあったのかを職員同士で共有したいと思っています。

今回は、その一部をご紹介します！



『2人から100人でもできる！15分でチームワークを高めるゲーム39』

ブライアン・ユール・ミラー 著／富樫奈美子 訳  
ディスカヴァー・トゥエンティワン 出版

ゲームを通じて気づきを共有することが大切なんだ！  
と思いました。皆で取り組める機会があれば嬉しいです！

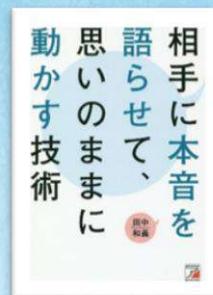
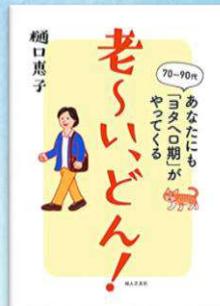


実際のポップ



『時間が止まった部屋 遺品整理人がミニチュアで伝える孤独死のはなし』 小島美羽 著／原書房 出版

遺品整理人が孤独死された故人のお部屋をなんとミニチュアで再現！生々しい現状を目のあたりにします。決して目をそらさないで。



他にもこんな本を読みました

## 寄付のお願い。

寄付でご支援頂ける方、よろしくお願い申し上げます。

### 《振込先》

【ゆうちょ銀行】14610-16725551

【滋賀銀行】本店営業部 普通 524265

〔口座名義〕特定非営利活動法人あさがお 理事長 尾崎 史

## 会員募集。

私たちの活動に、賛同・支援頂ける個人・法人の正会員、賛助会員を募集しています。寄付でご支援頂ける方、よろしくお願い申し上げます。

【正会員】	個人：年会費 5,000円 入会金 1,000円
	団体：年会費 50,000円 入会金 10,000円
【賛助会員】	個人：年会費 1口：3,000円
	団体：年会費 3口：9,000円以上

